

消 防 年 報

平成 2 5 年 版



市の花「カタクリ」



南 魚 沼 市 消 防 本 部

まえがき

この消防年報は、南魚沼市と湯沢町における平成 25 年中の主要な消防業務と消防現勢について収録し、消防業務について広く理解を求めるとともに、多方面にわたり資料として利用されることを願って編さんしたものであります。

市町村合併について

平成 16 年 11 月 1 日に六日町と大和町が合併し、南魚沼市が誕生しました。平成 17 年 10 月 1 日には南魚沼市と塩沢町が合併し、新たな南魚沼市となりました。

このことから、平成 18 年 3 月 31 日に南魚沼地域広域連合を解散し、同年 4 月 1 日から湯沢町における消防事務（消防団事務を除く。）を受託、名称を南魚沼市消防本部と改名し、現在に至っております。

なお、平成 19 年 4 月 1 日から旧町（塩沢町、六日町、大和町）3 団が南魚沼市消防団の 1 団体制となり、六日町方面隊、大和方面隊、塩沢方面隊に編成されました。

平成 26 年 3 月

南魚沼市消防本部

構成市町の章



南魚沼市



湯沢町

目 次

あ ゆ み

(庶 務)

1. 概 要	1
2. 南魚沼市消防本部機構	3
3. 歴代管理者・広域連合長・市長・消防長・署長	4
4. 職員階級別配置状況	5
5. 職員階級別年齢状況	5
6. 職員の特殊技能、その他資格取得状況	6
7. 職員研修受講状況	7
8. 主な業務	8
9. 平成25年度南魚沼市消防費予算状況	9
10. 消防相互応援協定	11

(消 防 団)

11. 歴代消防団長・方面隊長.....	12
12. 消防団の主な業務	13
13. 消防団員の階級別年齢・階級別勤続年数状況	14
14. 消防団員入退団の状況	16
15. 南魚沼市消防団員報酬・報償額	16
16. 消防団別の主な表彰歴	17

(通 信 指 令 ・ 気 象)

17. 災害種別受信件数	18
18. 月別気象状況	19
19. 過去3ヵ年の月別降水量	20
20. 過去3ヵ年の月別平均気温	20
21. 過去2ヵ年の月積雪深	21

(予 防)

22. 火災発生状況	22
23. 火災種別発生件数	23
24. 曜日別火災発生件数	23
25. 月別火災発生件数	23
26. 原因別火災発生件数	24
27. 過去10ヵ年の原因別火災発生件数	24
28. 時間帯別発生件数	25
29. 火災発生件数の推移	25
30. 市町別防火対象物数・防火対象物立入検査実施状況	26

31. 防火管理者選任状況・消防訓練指導状況	27
32. 業態別中高層防火対象物数	28
33. 消防用設備等検査状況	29
34. 建築同意状況	30
35. 市町別中高層防火対象物数	31
36. 幼年消防クラブ結成状況	31
37. 少年消防クラブ結成状況	31
38. 婦人防火クラブ結成状況	32
39. 甲種防火管理新規講習会受講者数の推移	32
40. 南魚沼地域防火協会、参加団体数、会員数の推移	32
41. 危険物施設数・危険物施設の許可・検査実施状況	33
42. 危険物製造所等の申請、届出事務処理状況	34
(警防)	
43. 各種出動状況	36
44. 地区別救助出動状況	36
45. 警防調査実施状況	37
46. 訓練実施状況	37
47. 消防施設の現況	37
48. 消防ポンプ自動車等現有状況 (消防団)	38
49. 公設消防水利の現況	38
50. 公設消火栓管径別設置状況	38
51. 消防装備配置状況	39
(救急)	
52. 署・分署別救急出動状況	46
53. 月別事故種別出動状況	47
54. 月別署・分署別救急出動状況及び搬送人員数	47
55. 年齢別傷病者搬送状況	48
56. 年齢区分事故種別搬送人員の割合	48
57. 事故種別出動状況及び搬送人員の内訳	49
58. 月別疾患別搬送状況	50
59. 救急隊の行った応急処置状況	50
60. 応急手当普及啓発活動状況	51
61. 医療機関別収容回数及び人員数	51
62. 年齢区分別傷病程度	52
63. 事故種別搬送時間状況	52
64. 時間帯別出動状況	53
65. 地域別出動状況	53

	4月 1日	第1次消防整備計画策定
	6月26日	魚沼地方集中豪雨
	8月20日	第29回新潟県消防大会を六日町で開催
	10月	湯沢分署・大和分署庁舎増築
	10月 5日	プロパンガス爆発（大和町大字浦佐 死者1名、負傷1名、全壊1戸、損壊11戸）
昭和54年	12月27日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢）
昭和55年	2月16日	六日町豪雪対策本部設置
	3月17日	湯沢町に無線サイレン吹鳴装置設置
	3月28日	救急医療情報システム導入
	7月18日	南魚沼郡防火協会設立
	11月27日	消防100年記念消防団全国大会開催（東京）
昭和56年	1月 6日	56豪雪 豪雪対策本部四町に設置
	2月 9日	スキー場で雪崩（六日町大字坂戸 軽傷者1名）
	2月	消防本部・署庁舎増築（第3期）
	6月21日	広域消防10周年記念式典開催
	7月 3日	六日町消防団 坂戸スキー場の雪崩災害で県知事表彰
	8月23日	集中豪雨により六日町の魚野川氾濫被害発生
	10月 1日	防火対象物表示公表制度の施行
	12月20日	消防庁C型救急指令装置導入及びテレホンガイドサービス開始
昭和57年	3月 3日	魚沼消防本部・六日町消防団 消防庁長官表彰旗受章
	4月 1日	利根沼田広域市町村圏整備組合と、消防相互応援に関する協定締結
	11月15日	上越新幹線開業
	12月 4日	休日診療所を六日町保健センターに移設
昭和58年	4月 1日	第2次消防整備計画策定
	9月	本署消防ポンプ自動車（CD- ）更新
	10月26日	関越自動車六日町ICまで開通
	12月11日	工場火災（六日町大字泉）
昭和59年	2月 8日	59豪雪 豪雪対策本部四町へ設置
	2月29日	雪崩災害（湯沢町大字湯沢 湯元 民家直撃2名救出）
	4月 1日	第2次病院群輪番制、休日夜間救急診療開始
	4月11日	救助隊編成
	6月12日	救助訓練塔完成
	9月15日	新潟県総合防災訓練を湯沢町で開催
	11月 8日	関越自動車道湯沢ICまで供用開始
	12月17日	湯沢町消防団 消防庁長官特別表彰を受賞（雪崩災害救助活動）

昭和60年	2月17日	ホテル火災（湯沢町大字湯沢）
	9月26日	第1回関越トンネル総合防災訓練開始
	12月	本署、化学消防ポンプ自動車更新
昭和61年	11月11日	六日町少年婦人防火委員会設立
昭和62年	2月26日	本署に大型救助工作車配置
	11月6日	湯沢分署・大和分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
昭和63年	3月3日	JR上越線湯沢町土樽地内で展望列車「アルカディア号」火災発生
	4月1日	第3次消防整備計画の策定
	12月4日	ビル火災（湯沢町大字湯沢西中 死者2名）
昭和64年	1月7日	昭和天皇崩御、翌日8日に平成と改元
平成元年	4月1日	消防緊急情報システム 型導入及び順次指令装置、新テレホンガイド導入
	9月1~7日	管内リゾートマンション特別査察
平成2年	1月1日	新潟県広域消防相互応援協定締結
	3月8日	塩沢町消防団 消防庁長官表彰旗を受賞
	3月20日	指令室に地図検索装置及び自動気象観測装置を導入
	6月6日	日本消防協会東北支部消防連絡会議開催（湯沢町）
平成3年	2月17~20日	塩沢町・六日町で第46回国民体育大会冬季大会開催
	6月23日	広域消防20周年記念行事開催
平成4年	1月10日	湯沢分署新庁舎移転、業務開始
	4月3日	南魚沼幼少年婦人防火委員会設立
	6月1日	本署指令車更新
	9月6日	六日町婦人防火クラブ結成
	12月16日	湯沢分署はしご付消防自動車（35m級）を配置
	12月28日	本署消防ポンプ自動車（CD-1）更新
平成5年	3月3日	湯沢町消防団、消防庁長官表彰旗を受賞
	4月1日	第4次消防整備計画策定
	6月8日	救急車に患者搬送装置（プロパックモニター）を装備
	7月19日	本署、防火広報車を導入
	11月	湯沢分署、救助訓練塔完成（主塔、副塔）
平成6年	12月1日	各団に小型動力ポンプ付軽積載車を貸与
	12月15日	大和分署、新庁舎移転 業務開始
平成7年	4月1日	新潟県消防防災ヘリコプター運用開始
	9月1日	塩沢町婦人防火クラブ結成
	9月1日	大和分署、県消防防災ヘリコプター給油施設設置
	11月29日	本署、消防車庫棟新築
平成8年	2月8日	湯沢分署、消防ポンプ自動車（兼救助工作車）更新配置

	4月 1日	南魚沼郡山岳遭難防止対策協議会へ加入
	5月31日	放射能防護服、放射能測定器配備
	6月 8日	本署、指令車更新
	12月7~9日	長野県蒲原沢土石流災害現場へ応援出動（第1次隊）
	12月12~14日	同上（第5次隊）
	12月20日	本署、はしご付消防自動車（24m級）を配置
平成 9年	6月 5日	本署、積載車更新
	8月 7日	湯沢分署、指令車更新
	8月 8日	大和分署、指令車更新
	8月28日	大和分署、救急車更新
	9月11日	湯沢分署、救急車新規購入2台体制となる。
平成10年	3月 7日	自治体消防50周年記念式典（日本武道館）
	3月10日	本署、高規格救急車更新
	4月 1日	第5次消防整備計画策定
	4月 1日	六日町病院に「心電図伝送受信装置」を設置
	10月28日	携帯電話から119番通報運用開始
	10月	台風10号郡内に被害
平成11年	1月20日	本署、小型ポンプ付水槽車を新規配置
	12月14日	本署、救急車更新
平成12年	2月 4日	湯沢分署、高規格救急車を新規配置
	3月13日	本署、化学消防ポンプ自動車更新
	4月 1日	関越トンネル内救急業務を道路公団より引き継ぐ
	5月31日	湯沢分署、積載車更新
平成13年	1月 1日	本署、非常用自家発電設備を設置
	1月 4日	中越地区地震
	2月12日	スキー場で雪崩災害（大和町大字五箇 軽傷者1名）
	3月19日	南魚沼郡広域事務組合を解散し、南魚沼郡広域連合を設立
	4月 1日	指令室指令台「消防緊急通信施設（型）」に更新及び新発信地表示システムを導入
	8月	六日町欠ノ上地内に県消防防災ヘリコプター緊急離着陸場を設置
	12月25日	塩沢町消防無線サイレン新設
平成14年	3月 9日	本署、救助工作車更新
	4月 1日	南魚沼メディカルコントロール協議会設立
	11月26日	大和町婦人防火クラブ結成
平成15年	4月 1日	第6次消防整備計画策定
	8月24日	第54回新潟県消防大会を湯沢町で開催

	10月30日	本署、指令車更新
平成16年	2月25日	大和分署、水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月27日	全国消防長会東北支部総会（湯沢町）
	7月13日	新潟・福島豪雨（7.13水害）13～15日災害応援
	10月23日	新潟県中越地震 25～31日災害応援
	11月1日	六日町、大和町併し南魚沼市となる。
	11月1日	南魚沼郡広域連合を南魚沼地域広域連合に名称変更する。
平成17年	2月25日	湯沢分署、水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月1日	緊急消防援助隊登録（消火隊・救助隊・救急隊各1隊）
	9月1日	湯沢分署、救急車更新
	9月27日	本署、高規格救急車更新
	10月1日	南魚沼市と塩沢町が合併する。
	10月25日	携帯119受信装置整備運用開始
	11月30日	湯沢分署、自家発電設備を設置
平成18年	1月6日	平成18年豪雪 市町に豪雪災害救助法適用
	2月28日	本署、指揮隊車を配置
	3月17日	大和分署、自家発電設備を設置
	3月31日	南魚沼地域広域連合を解散する。
	4月1日	南魚沼市消防本部となる。湯沢分署を湯沢消防署に格上げ。
	4月1日	南魚沼市六日町消防団、南魚沼市大和消防団、南魚沼市塩沢消防団と改名する。
	11月28日	大和分署、高規格救急車へ更新
平成19年	4月1日	六日町消防団、大和消防団、塩沢消防団を併し南魚沼市消防団1団体制となる。
	7月16日	新潟県中越沖地震 16～26日災害応援
	8月31日	大和分署指令1号車更新
	9月6～7日	北越急行との合同訓練 参加人員75名
	10月2日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練 参加人員200名
	10月14日	南魚沼市消防団秋季連合演習 六日町小学校 参加人員1,192名
	11月28日	湯沢署、高規格救急車更新
平成20年	3月7日	自治体消防60周年記念式典（日本武道館）において、南魚沼市消防団（塩沢方面隊）日本消防協会長特別表彰「まとい」受賞
	7月27日	集中豪雨（ゲリラ豪雨）発生により、城内地区、東地区内河川において河川土砂災害発生
	8月29日	第37回全国消防救助技術大会（北九州市）初出場（引揚チーム5名）
	10月16日	関越自動車道大和スマートインターチェンジ供用開始

	10月23日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練（参加者 240 名）
	11月28日	社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車寄贈により本署、高規格救急車 2 台体制となる。
	12月22日	湯沢署、指揮隊車を配置
平成 21 年	1月25日	文化財防火訓練（鈴木牧之記念館）
	2月17~20日	第 64 回トキめき新潟国体のスキー競技が南魚沼市（石打地区）及び湯沢町で開催
	4月9~10日	新潟県消防長会春季総会（開催地：南魚沼市消防本部）
	5月16日	新型インフルエンザ（A/H1N1）患者が国内で発生、管内では 6 月 23 日に発生し流行拡大
	7月23~27日	フジロックフェスティバル（苗場）期間中救急隊 1 隊を現地（湯沢町浅貝）に常駐
	8月20日	第 38 回全国消防救助技術大会（横浜市）に出場（ロープブリッジ救出チーム 4 名、ロープブリッジ渡過）し、2 種目とも入賞
	9月25~27日	患者等搬送事業乗務員基礎講習
	9月27日	第 64 回トキめき新潟国体の自転車競技が南魚沼市で開催
	9月28日	患者等搬送事業乗務員定期講習
	10月2~5日	第 64 回トキめき新潟国体のテニス競技が南魚沼市で開催
	10月16日	中部消防応援協定協議会を南魚沼市で開催
	10月23日	中越大震災 5 周年記念追悼式（長岡市）
	11月12日~12月4日	救急隊員のうち 46 名に新型インフルエンザワクチン接種
平成 22 年	1月24日	文化財防火訓練（トミオカホワイト美術館）
	2月10日	南魚沼市消防団が日本消防協会長から表彰旗を受賞
	6月27日	消防本部新庁舎の建設工事が始まる。
	8月27日	第 39 回全国消防救助技術大会（京都市）に引揚救助チームが出場し、入賞する。（全国大会へは 3 年連続出場）
	9月1日	新潟県防災訓練が魚沼市で開催、当本部より救助隊 1 隊が訓練参加
	9月3日	北越急行との合同訓練 参加人員 21 名
	11月5日	本署、救急予備車（高規格救急車）を更新し救急車の配置替えを実施
	11月13日	南魚沼市・湯沢町危機管理フォーラム 2010 開催
平成 23 年	1月23日	文化財防火訓練（浄光寺）
	1月31日	平成 23 年豪雪 市に豪雪災害救助法適用
	3月11日	東日本大震災発生
	3月12日	長野県北部地震発生
	3月14日~5月10日	緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ出動（延べ派遣人員 276 名）
	7月27~29日	新潟・福島豪雨災害発生 消防団員延べ約 4,400 名出動

	9月 1日	消防本部新庁舎供用開始
	11月9日	緊急消防援助隊の活動について総務大臣表彰を受賞
平成24年	1月26日	文化財防火訓練（三国街道二居本陣 富沢家）
	1月30日	湯沢町に豪雪対策本部設置
	1月31日	南魚沼市に豪雪対策本部設置
	2月 3日	南魚沼市全域に災害救助法適用
	2月20日	南魚沼市消防団が防災功労者消防庁長官表彰を受賞
	5月 1日	湯沢署、消防ポンプ自動車を更新
	5月24日	国道253号八箇峠トンネル内爆発事故発生 新潟県広域消防相互応援協定により県下14消防本部から48隊 233名の応援を受ける。68時間による救出活動で4名救出。
	10月 4日	湯沢署、救急車更新（高規格救急車）
	10月30日	ドクターヘリ運航開始
平成25年	1月20日	文化財防火訓練（五郎丸神社）
	2月22日	南魚沼市に豪雪対策本部設置 六日町地域、大和地域に災害救助法適用
	2月24日	塩沢地域に新潟県災害救助条例適用
	4月 1日	初の女性消防吏員採用
	4月 1日	南魚沼市消防団大和方面隊再編により新体制となる。
	5月16日	消防本部訓練塔工事着工
	9月 2日	南魚沼市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞